

# 大会宣言文

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

第六十五回三重大会から第七十一回秋田大会に至る七年間、大会主題「新たな知を拓き人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」のもとに各大会の特色を生かしながら、その実現に向け、組織をあげて実践的に研究を進めてきた。今大会からは、新学習指導要領全面实施を節目として、大会主題を「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」と改め、その実現を目指している。

これからの社会は、Society 5.0の実現に向けて急激に変化するとともに、グローバル化も一層進展する。さらに、少子高齢化・人口減少社会の中で、労働環境も大きく変化するなど、先行きが不透明な時代といえる。このような中、我が国では、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会の構築が求められている。教育においては、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するため、「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメント等の確立を図り、幅広くグローバルな視野で教育活動を創造しなければならない。また、今日的課題として、東日本大震災をはじめとする被災各地域における教訓と取組を共有し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、各地域の状況を踏まえながら、子どもの健康安全の保持及び学力保障にも継続的に取り組んでいかなければならない。

こうした社会の変化や国の動向を注視しつつ、自立的に生き抜くために必要な「生きる力」を確実に育むことが学校教育の責務である。さらに、家庭・地域との連携・協働により、人との関わりの中で、ふるさとの自然・歴史・文化から学ぶ教育を推進し、学んだことを社会の発展に役立てる力の育成が求められている。そのため、小学校教育においては、先人のあゆみを尊び、誇りとして、他者とともに人権を尊重し合い、豊かな未来社会を創造する子どもを育成することが重要である。

私たち校長は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から、誌上発表となった「京都大会要録」に示される新たな主題で挑む小学校教育の方向性並びに副主題「ふるさとの自然・歴史・文化を愛し他者と協働しながら豊かな未来社会を創る子どもの育成」を基盤に据え、小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第七十二回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

## 記

- 一、自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一、ふるさとの自然・歴史・文化を愛し他者と協働しながら豊かな未来社会を創る子どもの育成
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域との連携・協働による教育活動の充実
- 一、新型コロナウイルス感染症拡大防止を含めた安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実
- 一、教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の推進

右、宣言する。

令和二年十月三十日

第七十二回全国連合小学校長会研究協議会京都大会